

クラブ長期計画・クラブ研修リーダー

担当理事兼委員長 伊藤 正貴

《方針》

クラブにおける長期の奉仕計画に基づき、会長方針でもある【一步前に踏み出そう】を実践し、綾瀬RCの全てを地域に発信し、地域の未来を担う青少年の為となる、積極的な支援を押し進める。

《実行計画》

- ① 綾瀬ロータリークラブらしい長期的なプロジェクトの見直しと、企画、立案の推進
- ② 地域の青少年を中心とするコミュニティとの連携事業の推進
- ③ クラブ会員、全員で参加できる、事業の推進

クラブ研修委員会

副委員長 田墨 幸一郎

委員 鈴木 洋一 / 佐藤 涼栄 / 見上 周太 / 渡井 克正 / 堀口 淳二

《方針》

クラブ会長方針のもと、クラブ研修リーダーと共にクラブ内の研修事業を企画実施し、クラブを活性化させていく。

《実行計画》

- ① 地域社会の変化とニーズを的確に捉える。
- ② 地域の青少年支援活動の研究
- ③ ロータリーに関する研修会を開催する。
- ④ 地区研修委員会の内容をクラブへフィードバックしていく。

クラブ奉仕関連委員会

担当理事兼委員長 栗原 茂明

《方 針》

「ロータリークラブの基本は親睦から」と言われてきました。本年度の会長方針は「一步前に踏み出そう!」です。その中核となる活動が、クラブ奉仕関連委員会です。

従来活動を継承しつつ、新しいことにも取り組み新しいクラブ奉仕委員会の活動を皆さんで考えていきます。

《実行計画》

- ① 例会の内容をSAAと例会運営委員会が協力し、また創意工夫して、委員会報告や卓話の時間が、会員が楽しく、魅力ある、活力を感じる時間にしていきたい。
- ② 親睦事業の内容や会場選定などを工夫して、会員がクラブを楽しみ、参加して良かったと思える委員会活動を考えていきたい。
- ③ 会報の発行やほかのメディアにも情報提供し、クラブの活動を多くの人に知っていただく活動にも積極的に取り組んでいきたい。

プログラム委員会

委員長 鈴木 正和 副委員長 生駒 秀之

委 員 南里 和宏 / 関川 秀三郎

《方 針》

ロータリークラブを今以上に知るための卓話、会員間のコミュニケーションを取れる卓話を実施する。

《実行計画》

- ① 自己研鑽の一助となる卓話の実施
- ② 綾瀬市内だけでなく近隣地域で活躍されている方の講演
- ③ 月に一度は会員卓話を実施し、近況報告をしてもらう

例会運営委員会

委員長 栗原 茂明

■合 唱	副委員長 田墨 幸一郎	委員 見上 周太	／ 萩原 晃
■スマイル	副委員長 土橋 晃一	委員 笠間 茂治	／ 青柳 孝夫
■出 席	副委員長 堀口 淳二	委員 佐藤 凉栄	／ 室谷 陽生
■公共・会報	副委員長 加藤 良男	委員 伊藤 裕之	／ 橘川 直樹

《方 針》

- [合 唱] 厳粛にもアットホームな例会運営を努める。
- [スマイル] スマイルボックスの主旨は「何か良いことがあった時に志を寄付する」です。ただ、日々の忙しい日常の中で「良いこと」が起こることは少ないかもしれません。そこで、うれしいなと思えること、小さな幸せを探して頂きスマイルへの寄付をお願い致します。
- [出 席] 出席率を向上させる。
- [公共・会報] クラブ活動と例会の状況や情報を会員に伝達する。
地域に当クラブをもっと周知するために、クラブの行事・奉仕活動を積極的に周知していく。

《実行計画》

- [合 唱] ① 合唱委員会 歌詞カードを出し、歌っていただく。
② 季節ごとの歌を取り入れたい。
- [スマイル] ① 自然に笑顔があふれるような発表とする。
- [出 席] ① 平均出席率90パーセント以上を目指す。
② 事前・事後のメイクアップを奨励する。
③ 皆出席をお祝い、記念品を贈呈する。
- [公共・会報] ① 迅速にわかりやすく見やすい会報を発行する。
② クラブの行事を市の広報や各メディア、タウンニュース等に配信し、クラブの公共イメージを高める。

会場監督 (SAA)

委員長 栗原 茂明 副委員長 渡井 克正

委員 古郡 孔文

《方針》

クラブの顔である 例会の風紀、品位、秩序この3つを基本に例会の運営に勤める。

《実行計画》

- ① 例会欠席の場合、必ず事務局に連絡を取るよう、事前連絡の徹底を計る。
- ② 例会の品位を保つため、携帯電話の使用や、私語をなくすよう監督する。
- ③ 会員相互の親睦を計るため定期的に席替えを実施する。
地区の委員会に出席した場合、報告を促す。
- ④ 例会出席時、ロータリアンとして、節度ある身だしなみで出席する事を促す。

親睦委員会

委員長 川浪 潤 副委員長 橘川 直樹

委員 堀田 晃一 / 佐藤 好崇 / 生駒 秀之 / 萩原 晃 / 眞仁田 奈津子
中島 暖太 / 谷藤 英明

《方針》

各種親睦活動を通じて、会員と会員家族も一緒となり未来へと続く親睦を深めていけるように委員会メンバー全員で取り組んで参りますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

《実行計画》

関連部署との連携を密にして、下記の年間事業を実施する。

会長幹事慰労会	7月 2日 (火)
納涼移動例会	8月 6日 (火)
クリスマス例会	12月 21日 (土)
新年会 (春日合同・企画担当)	1月 22日 (水)
花見移動例会	4月 1日 (火)
会員誕生会	3ヶ月に1回 (9月、12月、3月、6月)

会員増強関連委員会

担当理事兼委員長 竹ノ谷 雅人

《方 針》

会長方針の「一步前へ踏み出そう」のためには、創立50周年を終え次に繋がる新規会員の増強が必要です。

クラブの伝統を守りながら多くの新規会員を増やせるよう入会活動を行う。

《実行計画》

- ① 目標 純増2名+ α
- ② 委員会を開催し会員との意見交換や情報の共有を行い、クラブの活動を入会候補者に分かりやすく情報を提供する。

会員増強・ロータリー情報委員会

副委員長 古郡 孔文

委 員 加藤 良男 / 矢口 大作 / 中島 保司

《方 針》

会員増強はクラブを維持していく中で、活力の源であり活性化をしていく必要があり、創立50周年を終え、今後ますますの発展を果たすため委員各位の増強に対する意識を高める。

《実行計画》

- ① 会員相互の情報交換を密にし委員会を開催する。委員候補者を発掘し会員全体で増強活動を展開する。
- ② 他の委員会と連携し、ロータリークラブの情報を発信しながら会員候補にロータリー活動に賛同し参加をして貰い入会に繋げる。

奉仕関連委員会

担当理事兼委員長 堀口 淳二

委員 志澤 直樹

《方針》

会長方針である一步前に踏み出そう!を实践し奉仕活動にクラブメンバーが参加意識を持ってもらえるように努め、地域に必要とされる奉仕活動を実施し、特に子供たちが笑顔になれる事業を推進する。

《実行計画》

- ① 社会・国際奉仕の活動計画が実施できるよう支援する。
- ② 職業・青少年奉仕の活動計画が実施できるよう支援する。
- ③ 奉仕活動が地域に認知されるよう各委員会と連携する。

社会・国際・職業・奉仕委員会

副委員長 笠間 茂治

委員 峰尾 四郎 / 土橋 恒一 / 斉藤 敬訓

《方針》

会長の方針である一步前に踏み出そう!に基づき奉仕委員会活動によってクラブを活性化し、地域に対する認知度のさらなる向上を目指し楽しく奉仕活動を実施する。

《実行計画》

- ① 恒例のピーナッツ掘りの実施
- ② トスボール大会の実施
- ③ 鮎の放流事業の実施
- ④ ウォークラリーへの協力
- ⑤ エンドポリオキャンペーンへの参加
- ⑥ ランドセルカバーと横断旗の寄贈
- ⑦ 子供たちへの奉仕
- ⑧ 職業奉仕に関する卓話を提供する

財団・米山関連委員会

担当理事兼委員長 平本 康雄

《方 針》

会員の皆様からいただく貴重な寄付金が、どのように地区で使われるか、「ロータリー財団」「米山奨学金制度」の目的、意義を会員の皆様に理解していただくように努める。

《実行計画》

- ① 奨学生のクラブイベントの参加や卓話を積極的に働きかける。
- ② 地区担当者の卓話の実施
- ③ エンドポリオイベントの検討、実施

財団・米山奨学事業委員会

副委員長 高橋 孝司

委 員 中島 保司 / 青柳 孝夫 / 島田 裕亘

《方 針》

ロータリー財団活動事業及び地区目標と、米山奨学金の目的や意義を、会員の皆様に理解してもらい、ご協力をお願いして早期目標達成に努力する。

《実行計画》

- ① 会員の理解を得て、米山奨学金地区目標額15,000円、ロータリー財団年次寄付を一人200ドル以上願います。
- ② 10月に米山奨学会月間と、11月のロータリー財団月間に、それぞれ卓話を願います。
- ③ ポリオ40ドル以上（撲滅までの理解）